

石狩海岸で発見したスナガニに関する報告

Report of *Ocypode stimpsoni* Ortmann (DECAPODA) found in Ishikari coast

内藤 華子*

Hanako NAITO*

キーワード：スナガニ，稚ガニ，石狩海岸

はじめに

北海道におけるスナガニ (*Ocypode stimpsoni* Ortmann), スナガニ属の1種 (*Ocypode* sp.) の分布の記録は, これまで函館, 室蘭, 有珠など道南, 道央南部に限られていたが (五嶋, 2017; 佐々木, 2016; 駒井ほか, 1992), 2023年10月15日に, 小樽市銭函4丁目の砂浜 (通称オタネ浜) を散策中に発見したカニを採取して観察したところ, 左右のはさみの大きさに若干の差異が見られること, はさみ脚の掌部の内面に顆粒列が認められたことから, スナガニであることが判明した. 分布が北上している可能性を示唆しており, 石狩海岸における記録もこれまで見当たらないため, ここに報告する.

観察・採集の状況

石狩海岸の中でも新川河口右岸側の砂浜の波打ち際 (北緯 43 度 10 分 8.44 秒, 東経 141 度 13 分 57.28 秒付近, 図 1) で, 晴天の波の穏やかな気象条件で, 甲幅が 1 cm 程度の複数個体が観察された (図 2~4).



図 1. 観察場所「(☆)」

採集個体の観察

甲幅は 8 mm, 右側のはさみ脚が少し大きい (図 5・6). 各種図鑑 (武田, 1982; 三宅, 1983; 西村編, 1995) に従い検索し, 蘭越町貝の館 (当時) の山崎友資学芸員の協力で顕微鏡観察により, はさみ脚の掌部の内面に顆粒列が認められた (図 7).

図鑑に掲載されるスナガニの甲幅は約 3cm (駒井, 2005) 2.5 cm (武田, 1982), 22mm (三宅, 1983) などとなっており, 今回観察された個体はこれらの記載より小さいため, 稚ガニであると考えられた.

* 合同会社いしかり植物ラボ 〒006-0042 北海道札幌市手稲区金山2条4丁目2-11



図2. 観察個体のうちの1個体



図5. 採集個体の背面



図3. 個体が観察された汀の様子



図6. 採集個体の腹面



図4. 個体が観察された汀の陸側から遠方



図7. 採集個体のはさみ足の掌部内面の顆粒列(矢印部)
蘭越町貝の館(当時)山崎友資氏撮影

考察

近年の海面水温の上昇は日本海北東部でも生じており(気象庁, web), 石狩海岸の漂着物に関する記録でも暖流系漂着物が増えるなどの傾向がみられ, 海水温の変化との関係が指摘されている(志賀・伊藤, 2008; 志賀・石橋, 2013). 今回スナガニの稚ガニが観察されたことは, 生息海域からの海流に乗って幼生が石狩海岸沿岸に浮遊してきたことと, 石狩海岸沿岸の海水温度が, 幼生が着底し稚ガニに成長するのに可能な温度であったことを示唆している.

今回観察された他の個体も, 甲幅 8 mm の個体と近いサイズ, つまり稚ガニサイズの個体ばかりであったことから, 当地での繁殖の有無については不明なままである. また, スナガニに特徴的な巣穴についても確認できていない.

今後は, 当地で越冬しているか, 繁殖しているかなどを確かめる必要がある. また同様の環境が広がる全長 25km に及ぶ石狩海岸の他のエリアでも確認できないか, など調査を重ねる必要がある.

謝辞: 本報告において, 種の同定にご協力いただき, スナガニの特徴についてご教示いただいた蘭越町貝の館(当時)の山崎友資学芸員に深くお礼申し上げます. また, いしかり砂丘の風資料館の志賀健司学芸員には, 標本の管理, 観察, 執筆に関わるとご助言, お力をいただき, 深く感謝申し上げます. 今回の報告につながったカニの第一発見者である海岸散策の同伴者, 内藤大輔氏にも感謝申し上げます.

引用文献

- 五嶋聖治, 2017. 北限のスナガニの季節的な砂浜利用パターン: 啄木はスナガニに会えたか?. 日本ベントス学会誌, 71: 83-89.
- 気象庁, web. 海面水温の長期変化傾向(日本海北東部), 気象庁, [https://www.data.jma.go.jp/kaiyou/data/shindan/a_1/japan_warm/cfig/warm_area.html?area=G#title\(2024-2-23 閲覧\)](https://www.data.jma.go.jp/kaiyou/data/shindan/a_1/japan_warm/cfig/warm_area.html?area=G#title(2024-2-23%20閲覧))
- 駒井智幸, 2005. スナガニ. 白山義久ほか監・著, 小学館の図鑑 NEO 水の生物, 小学館.
- 駒井智幸・丸山秀佳・小西光一, 1992. 北海道産の十脚甲殻類の分布リスト. *Researches on Crustacea*, 21: 189-205.
- 三宅貞祥, 1983. 原色日本大型甲殻類図鑑 II. 保育社.
- 西村三郎編, 1995. 原色検索日本海岸動物図鑑 II. 保育社.
- 佐々木 潤, 2016. スナガニ *Ocypode stimpsoni* Ortmann, 1897 (十脚目: 短尾下目: スナガニ上科: スナガニ科) の北限分布記録. *Cancer*, 25: 47-49.
- 志賀健司・伊藤静孝, 2008. 2007年に北海道石狩湾沿岸で見られた暖流系漂着物. 漂着物学会誌, 6: 11-16.
- 志賀健司・石橋孝夫, 2013. 石狩湾沿岸で2012年に見られたギンカクラゲの大量漂着. いしかり砂丘の風資料館紀要, 3: 37-41.
- 武田正倫, 1982. 原色甲殻類検索図鑑. 北隆館.